

# WORKSHOP



通所系サービス事業所の **残業削減** に  
どのようにCAREKARTEはイカせるか？

# ワークショップの流れ

---

- 1 自己紹介
- 2 テーマについて
- 3 残業削減のための意見交換

# 1

## 自己紹介

名前

都道府県

法人名/施設名

イカ派？タコ派？



## 2

### テーマについて “残業”をテーマにした理由

## 通所系サービス事業所の残業削減に どのようにCAREKARTEはイカせるか？

#### 若手職員の確保

福祉系の学生を対象に  
“職場の待遇について重視するもの”  
についてアンケートを取った結果、  
「時間外勤務が少ない」  
「有給休暇が取りやすい」  
が上位となった

#### 間接業務の時間短縮

残業の要因から、  
時間短縮できそうな間接業務を  
紐解く

#### 働きやすい環境作り

介護の現場で働く皆さんが  
より働きやすい環境を作るために、  
皆さんとケアコネクトジャパンで  
出来ることを考える

# 3

## どうして残業が生まれてしまうのか？

トラブル対応  
(月1人当たり4～5時間)

急な利用変更への  
対応

翌日の準備

新規利用者に関  
係する業務

計画書の  
作成

送迎パターンの  
作成

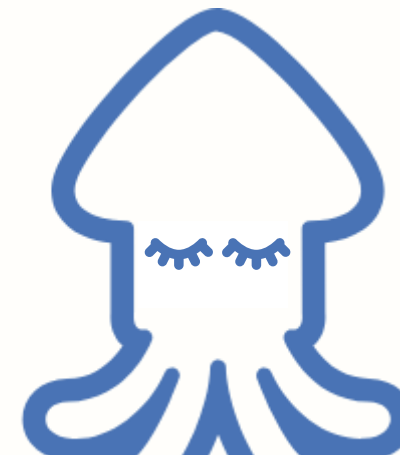
相談員の業務  
(月20～25時間)

月末の業務

書類作成

請求業務への  
対応

ケアマネが  
つかまらない



# 4

## 理想の働き方

事業所とのやりとりには  
「**LINEWORKS**」を使用

- ・コピー可能
- ・送迎後でなくてもできる

→連携が進めば…  
コピーすら  
しなくていいかも！

食事の  
食形態割り当てツール  
が欲しい！

CAREKARTE  
送迎ツールを使用  
(コピー可能)

車椅子の人の  
管理もできると  
なお良し

家で作業ができればいいのに…  
(AIの活用が進めば対応可能？)

・入浴の予定は、どう入れてる？  
CAREKARTEは  
利用者が50音順に並んでしまうなど、  
うまいこと対応しきれない…

- **Excel**で表をつくる
- マグネットを使用
- 記録は**ハナスト**で

書類が多い(LIFE、アセスメント……)  
→ ニーズ等、同じような内容になるところは  
「**転記機能**」で解決したい

**シフト自動作成**

→ さらに自動で加算算定まで対応できたら良い！



## 残業削減の壁はなんだろう？

### 送迎

- 送迎表の作成がネックになっている  
作成時間:15分(慣れてる人)~2時間とか(慣れてない人)  
➡送迎表をスマホでも見られるようにしてほしい

要調査…道が狭い⇒小さい車でないと…などといった点を加味した上で  
配車を組んでくれるシステムはある？

FAX

入浴

食形態

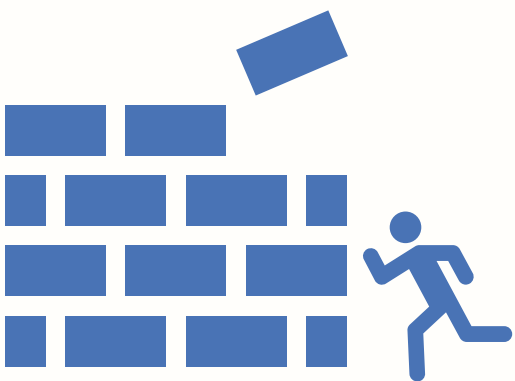
帳票管理

### 外部とのやりとり

- ➡Live、ケアコネが  
お役に立てるのでは

### システム賛成派・反対派

- ➡世代差あり。進めてみたら、慣れてくることも？



# 6

残業削減のために 皆さんができること、ケアコネクトジャパンができること

・送迎表をスマホでも見られるようにしてほしい！

ご要望

・DRIVEBOSS連携で、2時間かかる配車作業を半分に短縮！

できる事

・Liveの電子同意

→本人・家族の両方に同意を取りたい！（認知症の方の場合など）

ご要望

→セルフィー同意が活躍してる！

できる事





# 7

## 外部との連携、情報共有

### Live

- ・モニタリング 市町村毎の様式で指定される
- ・既読機能をつけてほしい！ → 「ケアコネ」で検討中
- ・リアルタイム反映  
→ 未完成の記録も見えてしまう。時間設定できれば？

### お困りごと ・ 理想

- ・「脱」FAXができれば、月末の作業が楽になる！
- ・領収書、請求書印刷後の封入作業が無くなれば…
- ・食事、レクの内容まとめの書類がほしい
- ・帳票を写真からスキャンする機能がほしい
- ・計画書等さまざまな帳票の管理 一覧で出てほしい
- ・作成する書類 まとめて一覧で出てほしい
- ・FAX送付用の書式がCAREKARTE内にあれば楽になるかも

挙げていただいたご要望は、カスタマイズで対応できる部分もあるかもしれないです  
ぜひお問い合わせをお願いいたします

## 参考資料①

# 間接業務時間/残業の短縮 成功事例まとめ

## 社会福祉法人F

CAREKARTE導入によって

転記時間の削減

待機時間の有効活用

情報源の活用



時間外労働 年間約23%削減

2260時間

## 社会福祉法人K

CAREKARTE導入によって

転記時間が 約1/3まで削減

記録と請求が連動



時間外労働 年間約20%削減

# 社会福祉法人〇

## CAREKARTE導入によって

連絡ノート作成の  
効率化



連絡帳作成時間 約1/10まで短縮

人件費 約1/5(約120万/年)まで削減

## 参考資料②

間接業務時間/残業の短縮  
成功事例 詳細とその他例

## 5 ICT化の効果

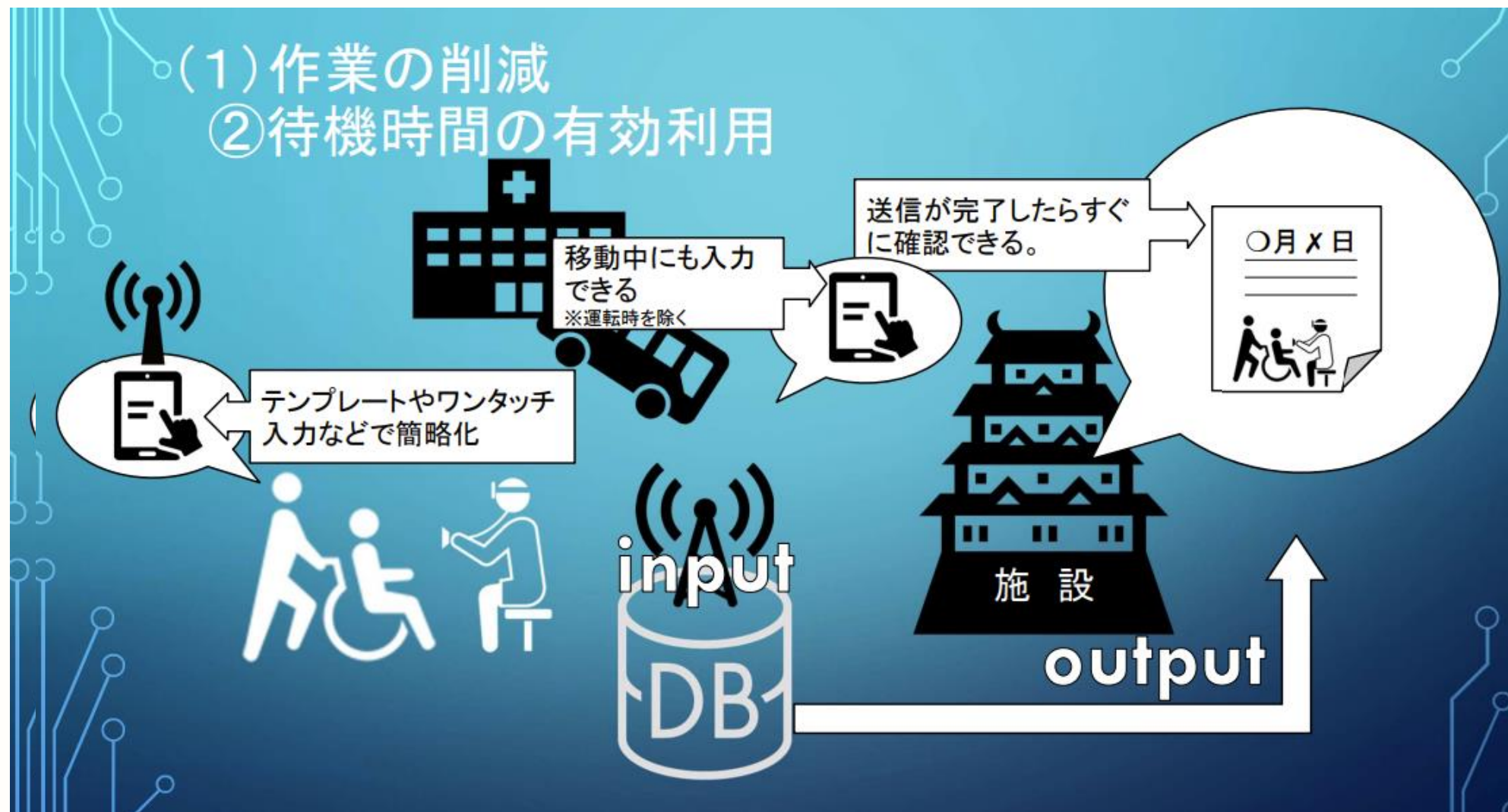
### (1) 作業の削減

#### ① 書き写し作業の削減



- 記録から記録への書き写しの時間が削減
- 記録の写し間違いの削減
- DBの記録はソートできる→資料作成の削減

# 社会福祉法人F





## (1) 作業の削減 ③ 情報資源の活用



今日の  
□□さんの通院は  
どうだっただろう

前は一つ一つ問い合わせて  
いましたが...



□□さんの記  
録をケアカル  
テで見てみよう



- ケアカルテ導入による引継ぎ業務の削減
- 過去の支援記録を振り返ることで支援技術の向上



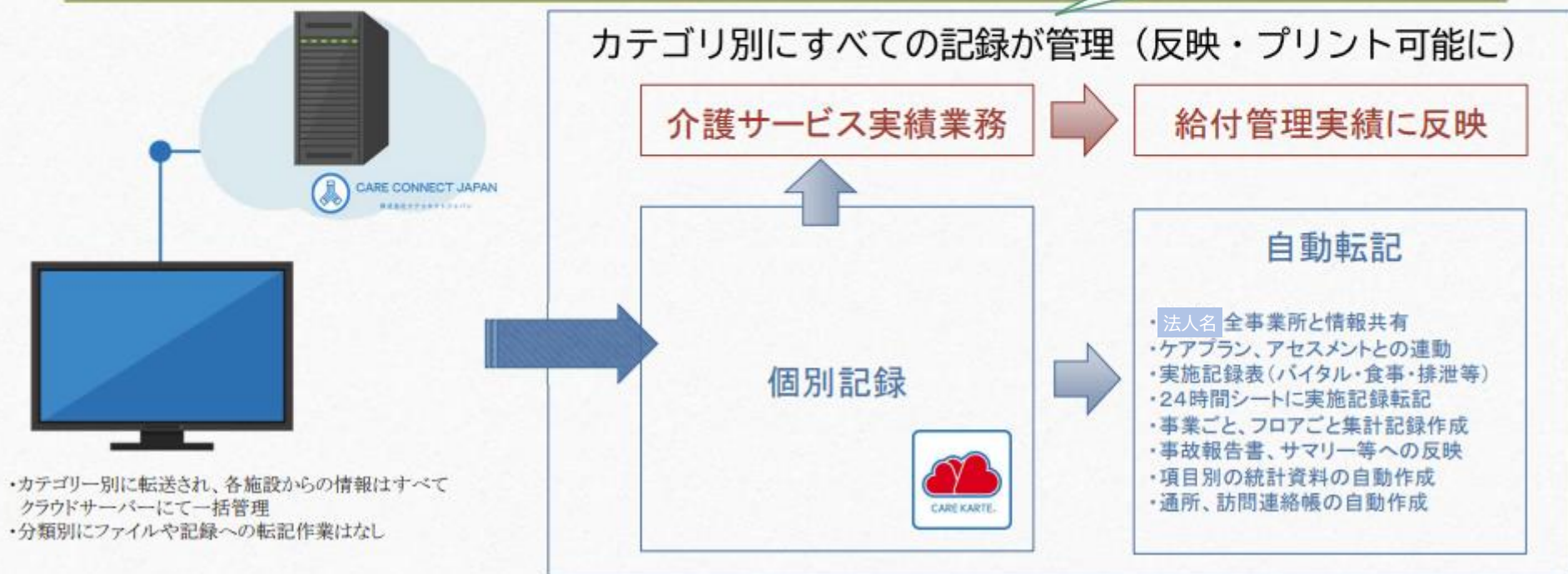
## ケアカルテ導入後の効果①

- ①各施設でバラツキのあった**介護記録が法人全体にて統一**
- ②**転記作業が約 1 / 3 まで減少**（次ページ転記イメージ）
- ③記録時間の短縮により、**時間外勤務が前年比 2 0 % 減少**（2 0 2 0 年度）
- ④**介護記録と請求記録が連動**（在宅サービスについては居宅プランにすべて反映）  
したことにより、法人名 事業のすべてが実績に反映
- ⑤**新規採用へのアピール戦略としてイメージアップ**（学生の好感度アップ）
- ⑥**2 0 2 1 年度の L I F E 加算に向け、スムーズな移行作業の実現**

## ケアカルテ導入後の効果③

- 導入効果(記録の共有化、効率化の一例)

- ・同じ形式の記録は1度の入力で完結。
- ・記録作業が約1/3に短縮。
- ・介護職員の残業時間が20%削減。



# 社会福祉法人☆

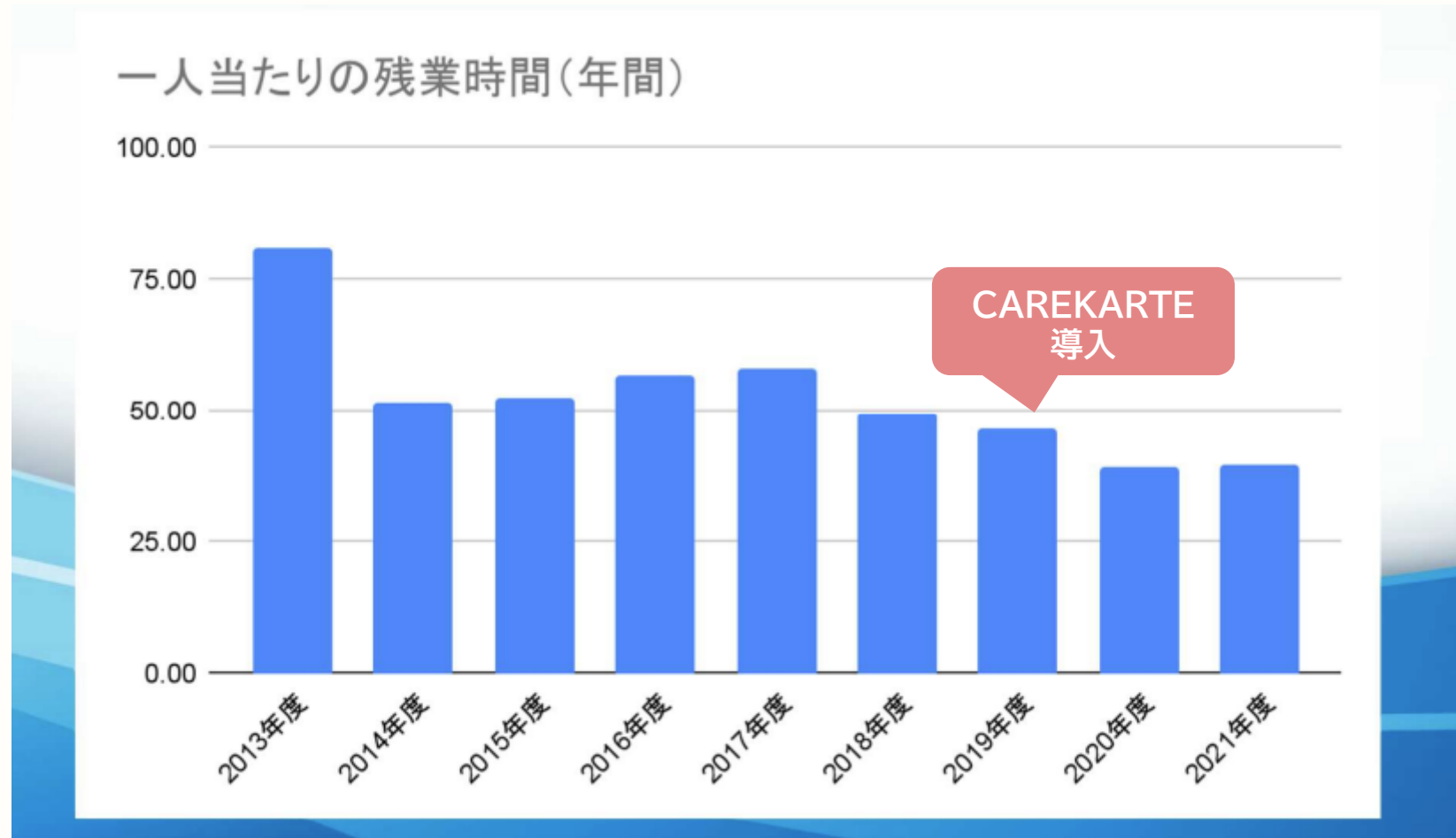
## 連絡ノートにかかる時間と人件費

|             | before     | after    |
|-------------|------------|----------|
| 作成時間        | 5～6時間      | 30～45分   |
| 年額<br>(人件費) | ¥1,544,400 | ¥280,800 |

※職員時給＝900円  
※1ヵ月＝26日

作成時間 約 **1/10** カット  
人件費 約 **1/5 (120万円)** /年カット

# 株式会社S 時間外労働



## 株式会社S コスト削減 印刷関係



# 社会福祉法人S（特別養護老人ホーム）

## ペーパーレス化と業務効率化

### 【介護職員】

- ・食事チェック表、手書きケース記録、事故報告書、日報の印刷を**全て廃止**。

### 【相談員】

- ・実調時のフェースシート（メモ用+清書用） **実調時直接入力できるので帰園後の事務作業が大幅に改善。**
- ・新入所時のフェースシート（各部署配布用）
- ・入所申し込みケース記録削減。
- ・本体、サテライト入所待機者情報共有化。
- ・利用者紹介表のカラー印刷
- ・ご家族連絡先確認票
- ・荷物チェックの簡略化（写真保存）

### 【看護課】

- ・受診先で記録入力が行える。
- ・看護サマリーを帳票作成できるので手書きで記入しなくて済む。

- ・食事チェック表2日1枚
- ・ケース記録70名分（平均10枚/年間）
- ・ヒヤリハット・事故報告書200枚年間
- ・業務日報365枚×日勤・夜勤
- ・看護業務日報365枚
- ・栄養士日報365枚
- ・実調書類年間100枚×2枚（メモ、清書）
- ・新入所フェースシート1枚×部署×15人



# 特別養護老人ホームS

## 短期的な効果

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| ケアカルテ+ハナスト<br>による紙削減                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>文書管理ツール導入により、起案から決裁までを電子化した<br/>→ 報告書等を印刷しなくなったことにより、紙・印刷コストが削減した</li> </ul>              | <b>導入前</b><br>印刷枚数<br>10,000枚/月                  | <b>導入後</b><br>印刷枚数<br>6,500枚/月                   |
| 睡眠状況に基づいた<br>訪室判断、適切な<br>材料選定による<br>おむつ消費量の減少 | <ul style="list-style-type: none"> <li>眠りSCANのリアルタイムモニターを活用し、睡眠状況により訪室有無を判断<br/>→ 適切な材料を選定することにより、おむつ交換回数が減り、排泄材料費が削減</li> </ul> | <b>導入前</b><br>排泄材料費<br>5,000円/入居者<br>※入居者1人あたり平均 | <b>導入後</b><br>排泄材料費<br>4,150円/入居者<br>※入居者1人あたり平均 |

## 中長期的な兆し

|               |   |                                |   |
|---------------|---|--------------------------------|---|
| 夜勤人員の削減       | <ul style="list-style-type: none"> <li>介護記録システムの入れ替えによって、夜間の記録作成時間が削減された<br/>→ 見守り機器の全床導入も達成し、今後、準夜勤の人員の削減を見込める</li> </ul>                                  | <b>現在</b><br>準夜勤の人員<br>3人      | <b>将来</b><br>準夜勤の人員<br>2人<br>今後はさらに<br>1.6人を目指す |
| 施設ブランド<br>の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>音声入力や議事録作成支援ツール等の有効活用により、周辺業務時間が減少した<br/>→ 今後、生産性向上により生まれた時間を地域イベント企画開催等に使うことで、福祉職として地域貢献できることを学生にアピールできる</li> </ul> | <b>現在</b><br>新卒採用で<br>8名の採用が実現 | <b>将来</b><br>施設ブランドの<br>向上により<br>さらに採用が充実する     |

## 参考資料③

弊社で実施した  
導入効果測定



# デイサービスS CAREKARTE導入効果



## CAREKARTE 導入による Before と After

|        | Before       |   |    |     |             |         |  | After        |   |    |     |             |        |
|--------|--------------|---|----|-----|-------------|---------|--|--------------|---|----|-----|-------------|--------|
|        | 1日あたりの作業時間   |   | 日数 | =   | 1ヶ月あたりの作業時間 |         |  | 1日あたりの作業時間   |   | 日数 | =   | 1ヶ月あたりの作業時間 |        |
| 記録の作成  | 4.0          | h | ×  | 30日 | =           | 120.0 h |  | 1.0          | h | ×  | 30日 | =           | 30.0 h |
| 日報の作成  | 1.0          | h | ×  | 30日 | =           | 30.0 h  |  | 0.5          | h | ×  | 30日 | =           | 15.0 h |
| 申し送り業務 | 0.2          | h | ×  | 30日 | =           | 4.5 h   |  | 0.2          | h | ×  | 30日 | =           | 6.0 h  |
| 請求業務   |              |   |    |     |             | 20.0 h  |  |              |   |    |     |             | 5.0 h  |
|        | 1ヶ月あたりの総作業時間 |   |    |     |             | 174.5 h |  | 1ヶ月あたりの総作業時間 |   |    |     |             | 56.0 h |

### 1ヶ月に削減できた総作業時間

Before

174.5 h

---

## After

56.0 h

---

削減できた総作業時間

118.5 h

1ヶ月に削減できる人件費

削減できた総作業時間 × 時給(1,050円) = 124,425 円

© 2004 Blackwell Publishing Ltd *Journal of Internal Medicine* 255: 103–110

*Before*

174.5 h

## After

56 h

## 1カ月に削減できた総作業時間

118.5 

# 社会福祉法人Y CAREKARTE初年度導入効果

## 特養

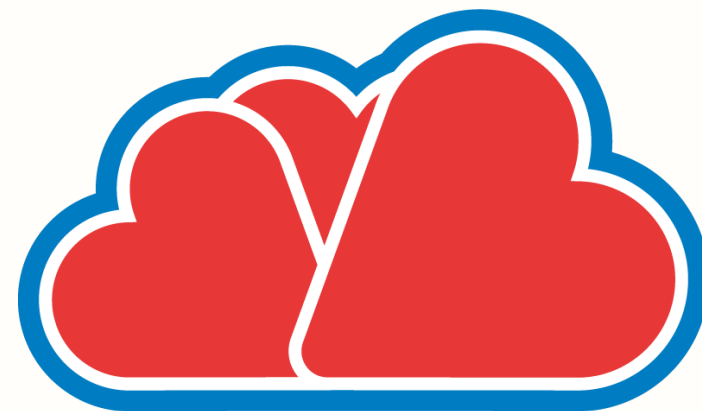
- ①効率化 良くなった 43%
- ②記録時間 短くなった 35%
- ③負担 負担ではない 21%
- ④書類時間 短くなった 17%
- ⑤熟練度 使いこなせている42%

## デイサービスA

- ①効率化 良くなった 89%
- ②記録時間 短くなった 78%
- ③負担 負担ではない 23%
- ④書類時間 短くなった 33%
- ⑤熟練度 使いこなせている46%

## デイサービスB

- ①効率化 良くなった 83%
- ②記録時間 短くなった 100%
- ③負担 負担ではない 86%
- ④書類時間 短くなった 83%
- ⑤熟練度 使いこなせている57%



# CARE KArte

## ケアカルテ

【2021年1月導入】

## 法人全体

- ・効率化が図れた 58%
- ・記録時間が短くなった 52%
- ・書類作成時間が短くなった 35%



高齢者介護システム  
絆Core